

(3) 水辺をつくる

多摩川をはじめ自然の河川や水辺だけでなく、区内の公園や緑道につくられた人工的な流れや池でも、生きものはすんでいます。新たな水辺をつくることで、近くの水辺から生きものを呼ぶことができます。



商業施設の屋上に整備した水辺

1) 水辺をつくってこんな生きものを呼んでみよう

区内全域で呼ぶことが期待できる生きものの例



ハクセキレイ



アズマヒキガエル



アジイトトンボ



ギンヤンマ



ショウジョウトンボ

みどりが連続または点在する地域で呼ぶことが期待できる生きものの例



カルガモ



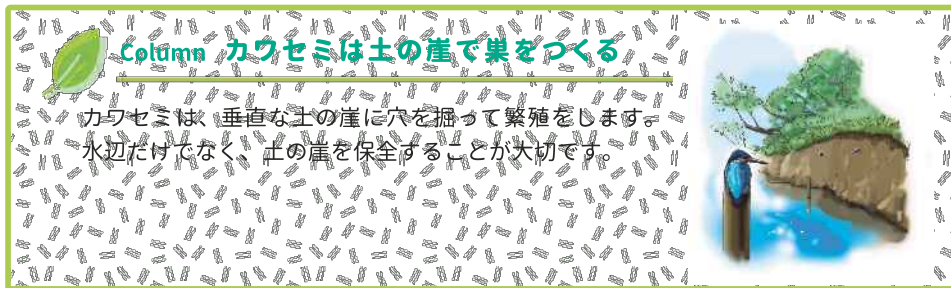
カワセミ



ハグロトンボ(流れが必要)



公園につくられた生きものを呼ぶ水辺
(区立三島公園の事例)



2) 水辺をつくるときに考えたいこと

① 池や流れも自然を参考に

敷地に余裕がある場合には、池や流れをつくることを検討してみましょう。生きものがすみやすくなる工夫がいくつかあります。

- 水深に変化を付けて多様な環境をつくる。
- 夏に水温が上がりアオミドロなどが繁茂しないように木陰をつくる。可能であれば水質浄化設備を設置する。
- 水草が育つように、陸から水中に深さをなだらかに変化させる。
- 岸辺に生きものがかくれることができる小さな隙間をつくる。

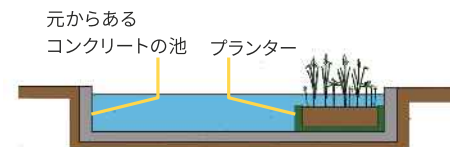
- ヨシ・カササゲ・アゼナルコ
- コガマ・ウキヤガラ・セリ・イ
- セリ・オモダカ・コナギ・イボクサ

- クサヨシ・ミソソバ・セリ
- ショウブ・ヒメガマ

- コウホネ・ヒルムシロ・サンショウモ

- は自然の中でよく見られる植物の組み合わせです。

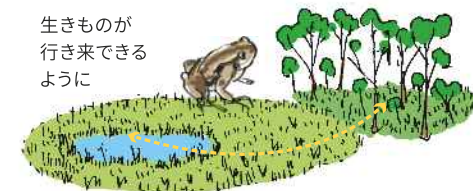
既存のコンクリートの池があるときには、水草を植えたプランターを入れるなど、ちょっと工夫するだけでも生きものを呼ぶことができます。



② 草地も一緒にあると生きものが来やすい

アズマヒキガエルは、卵やオタマジャクシのときは水中で、カエルになると草地や林で過ごします。草地や林で成虫の時期を過ごすトンボもいます。水辺と草地を一緒にすることで、安定して生きものがすみことができます。

生きものが
行き来できる
ように



③ 水鉢でも生きものを呼べる

敷地に余裕がなくても、水鉢などに砂利と水草を入れて生きものを呼ぶことができます。世田谷区では、このような水鉢などの生きものを呼ぶ「ちょこっと空間」づくりの普及を進めています。

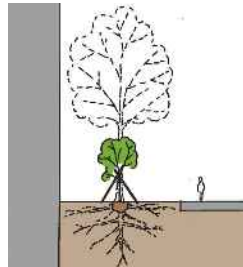


3-3.植える植物を考える

植物は一度植えたら、なかなかその場所から動かすことはできません。植える前に、まずその場所の環境にあう植物を選ぶことが大切です。

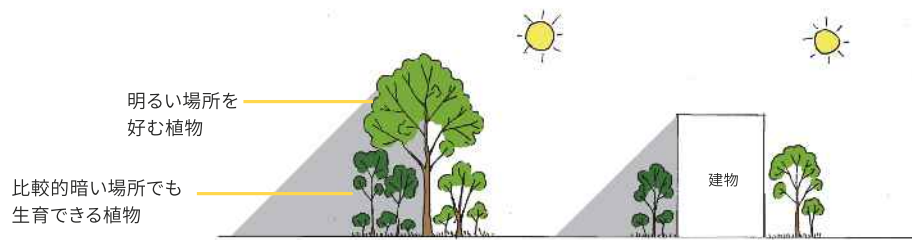
樹木の大きさ

大きく成長する樹木を植える場合には、将来の大きさに応じた空間が必要です。樹木は地上に枝を張るだけでなく、その幹を支える根も、水や空気などを求めて大きく成長します。将来的に大規模な剪定や伐採などが必要にならないよう、植える場所やお隣の状態も踏まえて植物を選びましょう。



植物の組み合わせ

植物によって、明るい場所を好むものや比較的暗い場所でも生育できるもの、乾燥に耐えるものや湿った環境に耐えるものなどがあります。植物の種類の組み合わせや配置は、植物ごとの特性を踏まえて検討しましょう。



周辺の生きものや生態系への配慮

新たに樹木や草を植えることは、その場所にそれまでにない植物を持ち込み、その環境を変えることになります。生態系被害防止外来種など、幅広く生態系などに影響をおよぼす恐れのある外来種もあります。いまある生態系のバランスを崩さないよう、特定の生きもののばかりを増やさない配慮が必要です。

Column 社会全体で進める生物多様性保全

企業は社会的存在として、利益追求や法令遵守だけでなく、雇用や労働条件、地域貢献や環境配慮など、社会の多様なニーズに適切に応える義務があります。このことを企業の社会的責任（CSR）といい、企業の信頼性や企業価値の向上にもつながるものです。

生物多様性の保全は社会の持続的な発展に欠かせないものであり、その取り組みはCSR活動の一つとして注目されています。認証制度によりその活動を広く社会に発信することは、生物多様性に関する社会の関心を高め、保全に向けた社会全体の取り組みにつなげることが期待されます。

生物多様性に関する認証制度

在来種植栽登録制度「江戸のみどり登録緑地」

東京都

東京の在来種を積極的に植栽している緑地を登録・公表することで、生きものの生息・生育環境に配慮した緑化を普及拡大し、もって東京の生物多様性の保全に資することを目的とした制度です。



いきもの共生事業所®認証（ABINC認証）

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

自然と人との共生を企業活動において促進することを目的に作られた制度です。企業における生物多様性に配慮した緑地づくりや管理・利用などの取り組みを、評価・認証します。



JHEP（ハビタット評価認証制度）

公益財団法人日本生態系協会

生物多様性の保全や回復に資する取り組みを定量的に評価、認証するものです。生物多様性の価値を客観的に数値化することで、真に効果的な取り組みの普及を後押しします。



Column 在来種とは

在来種とは、その地域に自然分布している動植物種です。長い時間をかけてその地域の生態系の一部となってきた在来の植物により緑化することで、在来の野鳥や昆虫などがすみ場所をつくることができます。在来種を植えるときには巻末の世田谷在来植物リストを参考にしてみてください。

Book

植栽時における在来種選定ガイドライン

～生物多様性に配慮した植栽を目指して～

生物多様性の向上を目指し、植栽地の環境に適した在来種の構成をもとに植栽樹種を選ぶ方法が示されています。このガイドブックの巻末資料「世田谷在来植物リスト」は、このガイドラインを参考に作成しました。

発行：東京都環境局自然環境部 平成26年5月 電話：03-5388-3548

4.生きものの緑化の楽しみ方

なにを呼ぶか、なにが来たか

生きものの緑化を始めるにあたって、どんな生きものを呼んでみたいか、まず考えてみましょう。呼んでみたい生きものが決まったら、その生きものが好きな環境をつくってみましょう。つくって終わりではありません。どんな生きものが来るか、季節を追って様子をみてみましょう。

このガイドブックで紹介した生きものとみどりの関係は、ほんの一例です。実際にどんな生きものが来るのか、呼びたかった生きものは来るのか。ワクワクした気持ちで生きものを待つと、みどりの手入れも楽しくなります。



Column まちの生きものの調べ

世田谷区では、区民が生きものを探して報告する「まちの生きものの調べ」を実施しています。身近な場所にも生きものはたくさんいます。

問い合わせ先：みどり33推進担当部みどり政策課 電話：03-5432-2282



タヌキ オナガ
カブトガニ トキガエル

調査対象種の例



「まちの生きもののしらべ2017」調査シート

楽しさを共有する

身近なみどりに生きものが来る楽しみを、ご近所でも共有してみてください。花の話題や小鳥の話題、失敗談もコミュニケーションのタネになります。

生きものの緑化によって、池から蚊が発生したり、野鳥のフンによる被害が生じる可能性もあります。また、ヤブツバキは冬に花をつけ、メジロが蜜を吸いにやってきますが、毒針をもつチャドクガが発生する場合があります。

蚊の発生を抑えるためにボウフラを食べるヤゴもすみやすくする、鳥のフンで洗濯物が汚れないように樹木をお隣から離して植える、ヤブツバキは過密に植えず人の通り道から離すといった気配りも大切です。



個人宅の庭を定期的に開放して
近隣で楽しみを共有

種名板をつけてみましょう

生きものの緑化を楽しむはじめての一步として、植栽した植物の種名板を作ってみましょう。やってくる生きものや花の時期などを記載することで、自然への興味を広げることができます。



生きもののことを考えて手入れしましょう

急激な変化を避けるため、草刈りや剪定、伐採などを一度にまとめて行わず、ローテーションで行うことで、生きもののすみかを確保でき、生きものにもやさしい管理につながります。また水辺の全面が草に覆われてしまうと、水面に産卵する種類のトンボがすめなくなりますので、増えすぎた水草は抜き取りましょう。



部分的に残された草丈の高い場所が、
昆虫などが逃げ込む場所になります。
(区立桜丘すみれば自然庭園の事例)

除草剤や殺虫剤の使用は控えめに

生きものの緑化では、極力、除草剤や殺虫剤は使わないようにしましょう。こまめな手入れや剪定、木酢液やトウガラシなどの自然素材を使って虫が来ないようにする方法もあります。また、天敵となる生きものを呼ぶことは病害虫の蔓延を防ぐことにもつながります。



Column 野鳥を呼ぶしかけ

- 小鳥の巣箱を設置する
シジュウカラやスズメなどが利用できるよう、巣箱には種類にあわせた穴を作って、その鳥が好む植栽と合わせて設置してみましょう。
- 鳥が水浴び、砂浴びをする場所をつくる
シジュウカラは冬でも日に4、5回は水浴びを、またスズメやキンバトは砂浴びもします。



集合住宅の林に
取り付けられた
シジュウカラ用の巣箱

建築計画に伴う緑化の注意事項

世田谷区では、一定規模の建築行為等の際、法令で一定割合の緑化が必要です。このガイドブックで紹介したもので、法律・条例上の緑化面積に含められないものもありますので、ご注意ください。なお、建築にあたっては、緑化計画も含め、建築基準法及び建築基準関係規定を遵守してください。

世田谷の在来植物(樹木)

高木				
種名	日照の好み	乾湿の好み	生長速度	備考
シロダモ	半陰	適～耐湿	早	
タブノキ	日向	適湿	早	 
モチノキ	半陰	適湿	遅	 
ヤブツバキ	半陰	適湿	遅	 
シラカシ	半陰～陰	適湿	早	
ヤブニツケイ	半陰～陰	適湿	早	
アカガシ	半陰～陰	適湿～耐湿	早	
アラカシ	半陰～陰	適湿～耐湿	早	
カゴノキ	半陰～陰	適湿		
スダジイ	半陰～陰	適湿	早	
ツクバネガシ	日向			
モミ	陰	適湿	早	
アカシデ	日向	適湿	早	
イイギリ	日向	適湿	早	
エノキ	日向	耐湿	早	
ミズキ	日向	適湿	早	
ムクノキ	日向	適湿	早	
ウワミズザクラ	日向			 
ヤマザクラ	日向	適湿	早	 
エゴノキ	日向	適湿	早	
リョウブ	日向	適湿	早	
クヌギ	日向	適湿	早	 
クリ	日向	適湿～耐湿	早	 
コナラ	日向	耐乾	早	 
アオハダ	半陰	適湿		
イヌシデ	日向	適湿	早	
イロハモミジ	半陰～陰	耐湿	早	
カマツカ	日向	適湿		
ケヤキ	日向	適湿	早	
マルバアオダモ		耐乾		

中木				
種名	日照の好み	乾湿の好み	生長速度	備考
ネズミモチ	半陰	適湿	早	 
ヒサカキ	半陰～陰	適湿	遅	 
サカキ	半陰～陰	適湿～耐湿	遅	
モッコク	半陰	適湿	遅	
ネジキ	半陰	適湿		

低木				
種名	日照の好み	乾湿の好み	生長速度	備考
ヤツデ	陰	耐湿	早	
イヌツゲ	半陰	適湿	遅	
マンリョウ	陰	適湿～耐湿	遅	
ヤブコウジ	陰	適湿	早	
マユミ	日向	適湿	早	
ムラサキシキブ	半陰	適湿	早	
ガマズミ	日向	適湿	早	 
サンショウ	半陰～陰	適湿～耐湿		 
コアジサイ	日向			
コウヤボウキ	日向	耐乾		
コゴメウツギ	日向	耐乾		
コバノガマズミ	日向	耐乾		
サワフタギ	半陰	適湿～耐湿		
ツクバネウツギ	日向			
ナガバノコウヤボウキ				
ヤマウグイスカグラ	日向			
ヤマツツジ	日向～半陰	適湿	遅	
クロモジ	半陰	適湿～耐湿		
ツリバナ	日向	耐湿		

ツル

種名	日照の好み	乾湿の好み	生長速度	備考
キツタ	日向～陰	適湿～耐湿		 
ツルグミ	日向			
テイカカズラ	日向～陰	耐乾～耐湿	早	
サネカズラ	陰	耐湿		
スイカズラ	日向	適湿	早	
ツタ	日向～半陰	耐乾～適湿	早	
ツルウメモドキ	半陰	耐湿	早	
アケビ	半陰	適湿		 
フジ	日向	適湿	早	 
ノブドウ	日向	適湿		
サルトリイバラ	日向～半陰			

種名覧の色分け

-  冬でも葉が落ちない樹木・冬に枯れない草
-  冬に葉が落ちる樹木・冬に枯れる草
-  冬に一部の葉が落ちる樹木

備考欄

-  花で鳥が吸蜜する
-  実を鳥が好む
-  チョウの幼虫が食樹にする
-  チョウが吸蜜する
-  樹液にカブトムシなどの昆虫が来る

- 本リストに示した種類以外にも世田谷に適した在来種はあります。本リストは、在来種を選定する際の目安として活用してください。
- 動物との関係は、特に強い関係を示したものです。記号を示していない植物もさまざまな動物と関わりを持っています。
- 本リストに示した植物は、11ページの「樹木を植える」での種類を想定しています。「草を植える」「水辺をつくる」では、14ページ、16ページを参考にしてください。
- 樹木の高さ(高木・中木・低木)の分類はみどりの計画書制度などとは異なります。

世田谷の在来植物(シダ・草本)

シダ

種名	日照の好み	乾湿の好み	備考
イノデ	日向～半陰		
オクマワラビ	日向～半陰	耐乾	
ベニシダ	半陰	適湿	
ヤブソテツ	日向～半陰		
ヤマイタチシダ	日向～半陰		
イヌワラビ			
シケシダ	日向～半陰	耐湿	

草本(ツル)

種名	日照の好み	乾湿の好み	備考
ヘクソカズラ	日向		
アマチャヅル	耐湿		

草本(多年草)

種名	日照の好み	乾湿の好み	備考
オオバジャノヒゲ	半陰	適湿	
オモト	半陰	適湿	
キチジョウソウ	半陰～陰	適湿～耐湿	
ジャノヒゲ	日向～陰	耐乾～耐湿	
シュンラン	半陰	適湿	
ヤブラン	半陰～陰	耐乾～耐湿	
アキノキリンソウ	日向	耐乾	
シラヤマギク	日向～半陰	耐乾	
タチツボスミレ			
ヌスビトハギ	半陰	耐湿	
ミツバツチグリ	日向		
コチヂミザサ	半陰～陰		
チゴユリ		耐乾～適湿	
ドクダミ	陰	適湿～耐湿	
ノガリヤス	日向		
ミズヒキ			